

Murakami Shinkin Bank

第75期

業務報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日



 村上信用金庫

<https://www.murakami-shinkin.com/>

ごあいさつ



会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より村上信用金庫をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

令和4年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化による影響が拡大し、当地区においても宿泊業、飲食業、サービス業などあらゆる業種に影響を及ぼしました。また、令和4年8月の豪雨災害による被害も甚大で、地域経済に与える影響も大きく一日も早い復興が待たれるところです。

このような厳しい環境下、当金庫は令和5年度に中期経営計画「つなげる地域、未来への挑戦」の最終年度を迎え、次の3つの重点施策を掲げました。

「お客様支援及び地域の課題解決」では、お取引先の資金繰り支援、本業支援など課題解決に取り組み、「業務運営変革への挑戦」では、業務改善やIT化の推進、店舗戦略実施への取り組みを行います。

また、「営業基盤の拡充と営業力の向上」では、預貸金の新規取引推進やお客様の課題解決に向けたコンサルティング能力の向上を目指した人材育成に取り組んで参ります。

多様化するお客様や地域のニーズに対応すべく「地元のメインバンク」として地域の皆様からの期待に応えられる金融機関であり続けるために、役職員一同取組んで参ります。

今後とも変わらぬご支援と一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

理事長 齋藤 和彦

当金庫の概要

◆ 名 称	村上信用金庫
◆ 本店所在地	〒958-8601 新潟県村上市小町2番15号 TEL：0254-53-2181（代表）
◆ 創 立	明治40年11月
◆ 会 員 数	8,495名
◆ 店 舗 数	7店舗
◆ 出 資 金 残 高	3億81百万円
◆ 常勤役員数	97名
◆ 自己資本比率	20.90%

(2023年3月31日現在)

経営理念

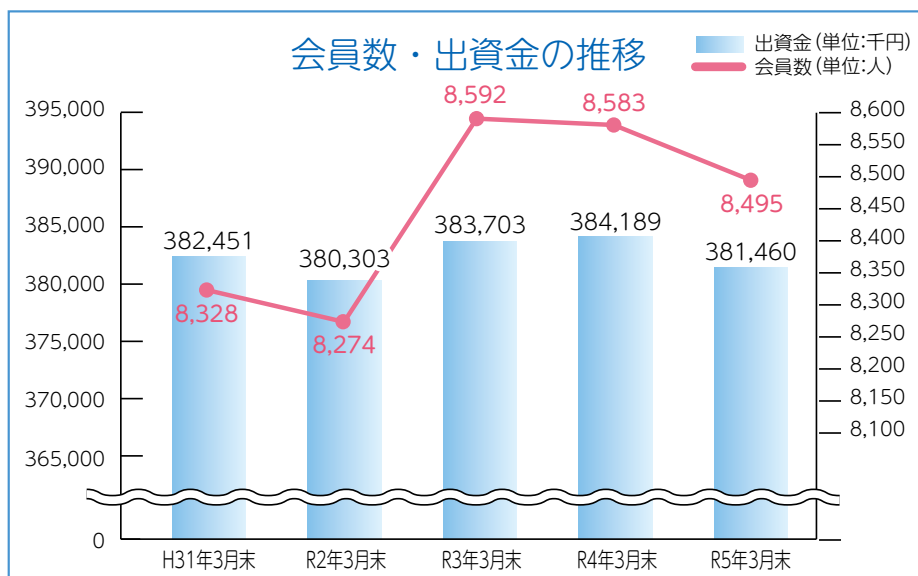
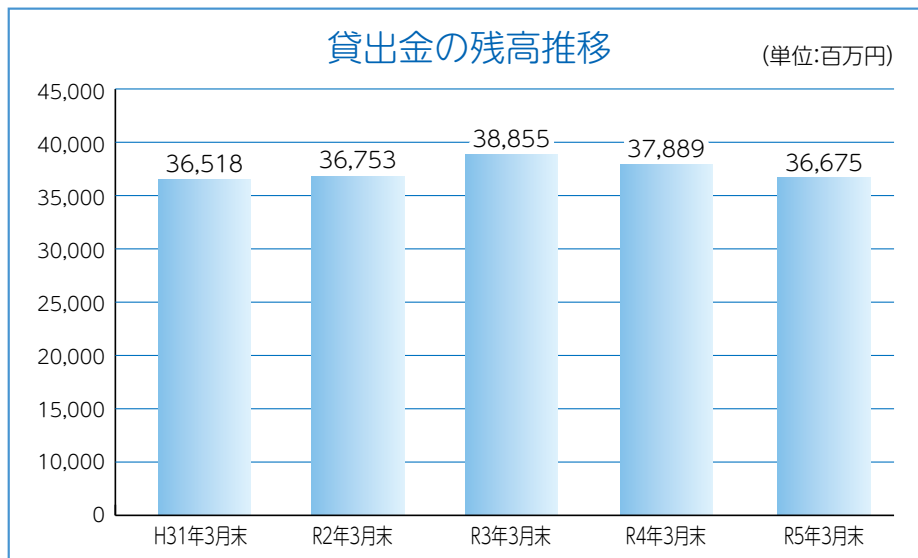
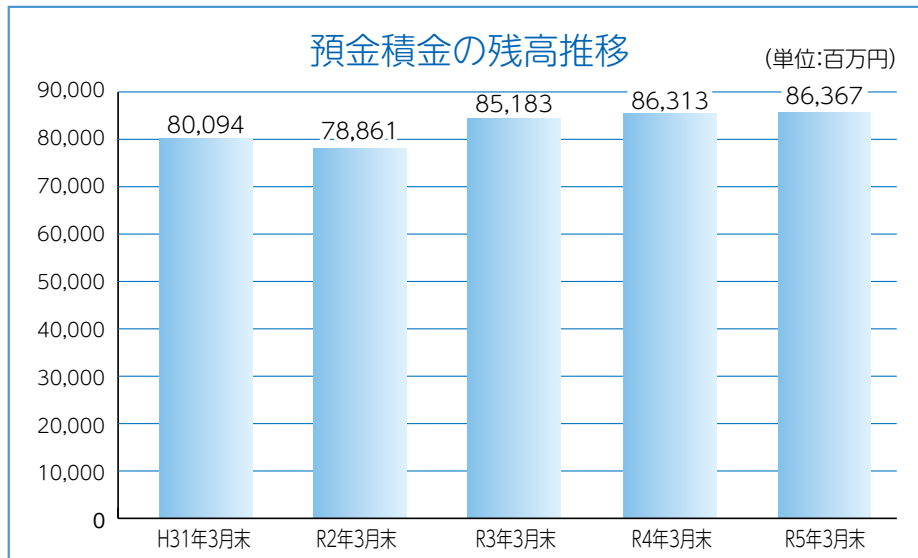
1. 私たちは、お客様の発展と幸せのために最善を尽くします。
2. 私たちは、地域社会の発展のために最善を尽くします。
3. 私たちは、村上信用金庫の発展と役員全員幸せのために最善を尽くします。

役 員

理 事 長	齋 藤 和 彦	理 事	川 村 卯 一
常務理事	五十嵐 和 明	理 事	伴 田 宏
常勤理事	長谷川 勝 人	常勤監事	佐 藤 浩 之
常勤理事	吉 田 茂	監 事	丹 善 広
理 事	横 井 仁	監事(員外)	小 田 健 司

(2023年3月31日現在)

業績の推移



第75期 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現 金	1,216
預 け 金	18,646
買 入 金 銭 債 権	482
有 価 証 券	41,994
国 債	2,056
地 方 債	3,438
社 債	15,289
株 式	1,251
そ の 他 の 証 券	19,958
貸 出 金	36,675
割 引 手 形	101
手 形 貸 付	1,247
証 書 貸 付	32,836
当 座 貸 越	2,489
そ の 他 資 産	530
未 決 済 為 替 貸	5
信 金 中 金 出 資 金	375
前 払 費 用	5
未 収 収 益	123
そ の 他 の 資 産	20
有 形 固 定 資 産	341
建 物	19
土 地	207
リ ー ス 資 産	25
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	88
無 形 固 定 資 産	12
ソ フ ト ウ ェ ア	3
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	8
前 払 年 金 費 用	18
繰 延 税 金 資 産	154
債 務 保 証 見 返	882
貸 倒 引 当 金	△ 418
(うち個別貸倒引当金)	(△ 408)
資産の部合計	100,536

科 目	金 額
(負債の部)	
預 金 積 金	86,367
当 座 預 金	1,496
普 通 預 金	40,090
貯 蓄 預 金	449
定 期 預 金	38,491
定 期 積 金	5,415
そ の 他 の 預 金	424
借 用 金	4,700
当 座 借 越	4,700
そ の 他 負 債	181
未 決 済 為 替 借	10
未 払 費 用	17
給 付 補 填 備 金	3
未 払 法 人 税 等	7
前 受 収 益	20
払 戻 未 済 金	1
職 員 預 り 金	45
リ ー ス 債 務	27
資 産 除 去 債 務	23
そ の 他 の 負 債	24
賞 与 引 当 金	32
退 職 給 付 引 当 金	20
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	48
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	0
偶 発 損 失 引 当 金	10
債 務 保 証	882
負 債 の 部 合 計	92,243
(純資産の部)	
出 資 金	381
普 通 出 資 金	381
利 益 剰 余 金	7,969
利 益 準 備 金	384
そ の 他 利 益 剰 余 金	7,585
特 別 積 立 金	7,075
(地域奉仕積立金)	(200)
(本店建設積立金)	(500)
当 期 未 処 分 剰 余 金	510
会 員 勘 定 合 計	8,351
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 58
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 58
純 資 産 の 部 合 計	8,292
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	100,536

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第75期 損益計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	1,222,715
資 金 運 用 収 益	1,102,396
貸 出 金 利 息	626,858
預 け 金 利 息	30,185
有価証券利息配当金	431,697
その他の受入利息	13,655
役 務 取 引 等 収 益	93,730
受入為替手数料	35,255
その他の役務収益	58,475
そ の 他 業 務 収 益	5,884
国債等債券売却益	106
その他の業務収益	5,778
そ の 他 経 常 収 益	20,703
貸倒引当金戻入益	13,431
償却債権取立益	370
その他の経常収益	6,901
経 常 費 用	1,025,402
資 金 調 達 費 用	8,906
預 金 利 息	6,141
給付補填備金繰入額	2,134
借 用 金 利 息	396
その他の支払利息	234
役 務 取 引 等 費 用	99,110
支 払 為 替 手 数 料	10,440
その他の役務費用	88,670
そ の 他 業 務 費 用	303
国債等債券償還損	203
その他の業務費用	99
経 費	908,596
人 件 費	653,842
物 件 費	231,751
税 金	23,003
そ の 他 経 常 費 用	8,485
そ の 他 資 産 償 却	445
その他の経常費用	8,039
経 常 利 益	197,312
特 別 損 失	1,543
固 定 資 産 処 分 損	1,543
税引前当期純利益	195,769
法人税、住民税及び事業税	19,899
法 人 税 等 調 整 額	4,952
法 人 税 等 合 計	24,852
当 期 純 利 益	170,917
繰越金(当期首残高)	339,438
当 期 末 処 分 剰 余 金	510,355

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第75期 剰余金処分計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 末 処 分 剰 余 金	510,355,818
利 益 準 備 金 取 崩 額	2,728,500
計	513,084,318
剰 余 金 処 分 額	115,234,518
普通出資に対する配当金 [(年4%)(うち70周年記念配当1%)]	15,234,518
特 別 積 立 金	100,000,000
繰越金(当期末残高)	397,849,800

庶務の概要

●第74期通常総代会

令和4年6月22日、第74期通常総代会を村上市瀬波温泉「大観荘せなみの湯」において開催しました。

報告事項

第74期(令和3年度)業務報告、貸借対照表及び損益計算書報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款第15条に基づく会員除名の件
- 第3号議案 定款一部変更の件

以上いずれの議案も原案通り承認可決されました。

●総代会制度について

信用金庫は、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫の会員数は8,495名(令和5年3月末現在)と多く、総会の開催は事実上不可能であることから、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
 - 総代の定数は、60人以上80人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。
- なお、令和5年3月末現在の総代数は70人です。